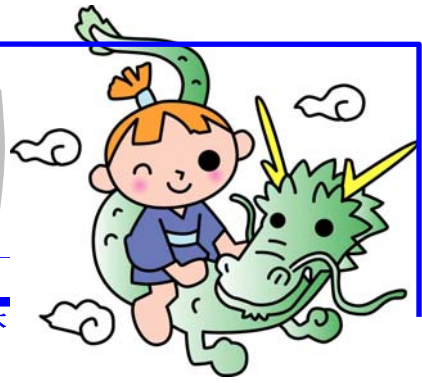


# ダムの風だより



## 大町ダム

“ダムの風だより”は国土交通省 大町ダム管理所が発行する広報誌です。

### 情報表示板を更新して移設する工事を行います

情報表示板は、大町ダムからの放流の情報を下流域の方々へお知らせすることを目的に、放流警報局舎（サイレンと赤色回転灯で放流をお知らせする装置）とともに高瀬川沿川に設置されているもので、大きいものが2箇所、小さいものが4箇所に設置されています。

このうち高瀬上橋\*に設置されている大きい情報表示板について、設置が古く設備が老朽化して故障が頻発していることから、今年度設備の更新を行います。

また、設置場所については、現在設置している高瀬上橋から上流の観音橋付近に移設を行います。

これは、観音橋には大町市の運動公園が隣接しているため、橋周辺の河川の利用者が多くなっているためです。

### ～新しい情報表示板～

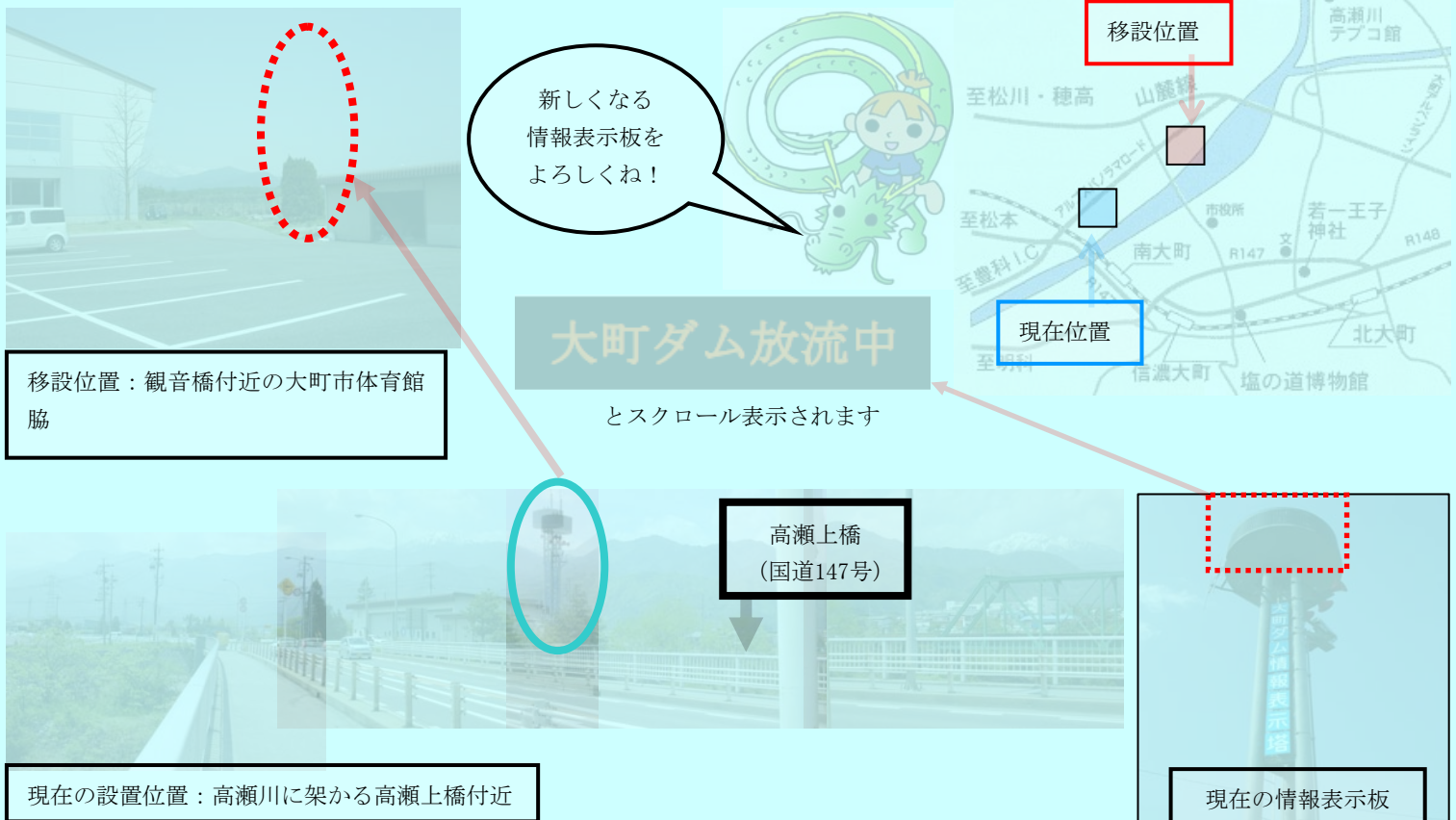
情報表示板は、直径が4.7m（乗用車の全長くらい）、高さが1.4m（乗用車の全高くらい）、鉄塔全部の高さが14m（4階建てのビルの高さくらい）程度の大きさとなる予定で、円筒形の周囲を文字が流れて表示されるので、堤防の外側の住民の方や運動公園に来場の方、河川内で水遊びをしている方、橋を通行している方を対象に、情報表示板の全ての方向から見る事ができます。

来年3月までには更新・移設工事が完了し、新しい情報表示板が観音橋に現れる予定です。

この工事に関しましては、運動公園をご利用の皆様にご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、ご理解とご協力のほど、よろしくお祈りします。

なお、この工事に関係した一般道路の通行止めは行わない予定です。

※ 高瀬川には「高瀬橋」と呼ばれる橋が2本あるため、大町市に架かる高瀬橋を「高瀬上橋」（上流側の橋）、安曇野市と池田町に架かる高瀬橋を「高瀬下橋」（下流側の橋）と呼ばれています。



## 高瀬溪谷フェスティバルを開催しました

去る 7 月 26 日 (土)、「森と湖に親しむ旬間」行事として大町ダムで「高瀬溪谷フェスティバル 2008」が開催されました。

今年は規模を見直した手作り感覚のフェスティバル開催となりましたが、約 1,000 名の方々に来場していただき、流木工作、魚の放流ツアー、丸太切り体験・木工品作り、カスタネット作り、ワークショップバスでのビデオ上映、砂防事業のパネル展示、ダム堤体内見学、龍神湖巡視体験など、どのブースも盛況でした。

また、「はちろう君」\*による製作体験もあり、リサイクル活動にも一役かかっていました。

なお、去年は洪水がなく流木が少なかったことから、毎年好評の半熟腐葉土の配布はありませんでした。当日は夏らしい晴れ空となり、夏の日を楽しんでいただけたかと思います。

※ はちろう君：シュレッダで裁断さ

※ れた古紙を利用してフラワーポットを作る専用機械



◎「はちろう君」によるフラワーポット作り  
なかなかコツが必要で難しそうです。



◎ダム堤体内見学  
普段は見ることのできないゲートの開閉装置室に入り興味津々の様子



◎大町ダム巡視船による龍神湖巡視体験  
湖面から見るダムはまた違う姿に見えたようです。

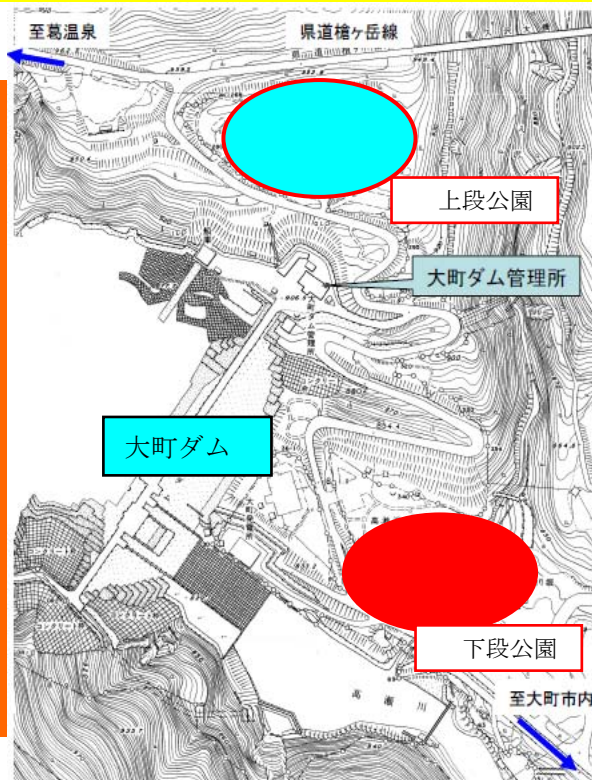
## 大町ダムからのお願い

大町ダム管理所へと続く坂道の登り口と登りきった県道との合流点直下にある公園(右図の赤丸箇所)は、大町ダム建設時の作業用地を緑地化して、現在では大町市により管理されており、市民の皆様にご利用いただいています。

この公園に設置されているトイレ等から出る水は大町ダム管理所が供給、管理しています。大町ダムの周辺は民家が少なく水道が通っていないことから、大町ダム建設時に掘った右岸トンネルからの湧き水を溜めて滅菌して使用しています。湧水の量は1分間に6.5%と少ないことから、多量の水を使用するとすぐに枯れてしまいます。

作業用水として使用や、洗車への使用は止めていただくようお願いします。

また、公園でのたき火やバーベキューといった火気を使う行為や、ゴルフの練習といった行為も周りの人の迷惑となりますので、お控えいただくようお願いします。



洪水から地域の人々の生命や財産を守り、ふるさとの大切な水資源を活かすことが、大町ダムの使命です。ダムに関するご意見やご要望もお待ちしております。

国土交通省北陸地方整備局大町ダム管理所

〒398-0001 長野県大町市平 2112-71 TEL. 0261-22-4511(代) FAX. 0261-22-4512

<http://www.hrr.mlit.go.jp/omachi/>